

論文審査の要旨

報告番号	修 第 1322 号	氏 名	伊藤 めぐみ
論文審査担当者	主査 鈴木 浩子 副査 三村 洋美 副査 岡本 明子		
(論文審査の要旨)			
学位論文題目 介護に対する肯定的認識および生きがい感と訪問看護支援			
<p>介護者の介護に対する「肯定的認識」に着目し、①介護の肯定的認識と生きがい感の程度、②属性による肯定的認識の違い、③介護者の思いや考えが肯定的認識や生きがい感に影響しているか、④訪問看護師の支援に対する介護者の評価、⑤信頼を高める訪問看護支援、⑥訪問看護師の支援は介護の肯定的認識や生きがい感に影響するのかを明らかにすることを目的とした研究である。</p> <p>訪問診療医から紹介された訪問診療と訪問看護を利用している介護者 63 名を対象に質問紙調査を行った結果、実の親、配偶者を介護しているものがほとんどであり、肯定的認識、生きがい感ともに高い傾向がみられた。肯定的認識・生きがい感には、被介護者への愛着と関係性の良さ、介護からの学びや成長の実感、在宅生活を維持できていることが影響していることが明らかになった。訪問看護師の支援と肯定的認識・生きがい感の間には、直接的な関連は示されなかった。</p> <p>本論文が導いた結果は、在宅医療・看護の場における質の高い支援を検討していくうえで重要な知見を生み出す基礎となる研究であり、今後、継続した研究を遂行する価値は多大である。</p> <p>以上より、伊藤めぐみ氏より提出された、学位論文「修士論文 介護に対する肯定的認識および生きがい感と訪問看護支援」は修士（保健医療学）の学位を授与するに値する論文であると認める。</p>			